

安心がつながる。



糖尿病治療は進化し続けています。
1型糖尿病患者さんの暮らしを、
もっと自由に。



患者さん、ご家族、医療チームが
一つになって1型糖尿病を見守り、
連携して低血糖などを予防・軽減する象徴が
「まもりんぐ」です。



まもりんぐ

検索

www.medtronic-dm.jp/mamoring/



離れて暮らす家族

食事中

日本メドトロニック株式会社
ダイアビータイス事業部
medtronic.co.jp

1型糖尿病の 患者さまへ



Medtronic
Further, Together

みんなが見守る。

糖尿病の変動傾向を見守り、
低血糖や高血糖の可能性があるときは、
アラートなどで素早くお知らせします。

これからは、患者さん、ご家族、
医療チームみんなでデータ共有が可能に。

低血糖や高血糖への
早めの対処が期待できます。



運転中

睡眠時

学校や職場で

1型糖尿病患者さんを守るために、 私たちができること。

1型糖尿病患者さんの 明るい未来のために。 リアルタイムCGM

リアルタイムで皮下の間質液中のグルコース濃度の変動実績をモニタでき、そのデータは治療の最適化や日々の治療のサポートのために用いられます。

CGMの値がスマホなどのモバイル機器や受信機に随時表示されるので、高・低血糖の事前対処がしやすい、行動変容を起こしやすい、食事や運動・薬剤と血糖変動の関係性を理解しやすいなど、さまざまなメリットが考えられます。



また、患者さんご自身とご家族、担当の医療チーム等つながりのある方々すべてが同時にCGMデータなどの情報を共有できるようになります。

リアルタイムCGMのメリットとは？

リアルタイムCGMでは、得られたデータを、患者さんのスマホなどのモバイル機器または受信機に自動送信します。

POINT 01

CGMで測定された値は対応するモバイル機器や受信機に自動送信されます。

POINT 02

データのモニタリングをすることで、自覚症状がない場合でも高・低血糖傾向を事前に察知できる可能性があります。

POINT 03

機器によってはアラートを離れたところにいるご家族に送ることもでき、ご家族の対応にも活用が期待されます。